



卒業式を前に

校長 小澤 秋仁

「アルイテマス・ゴメンナサイハ？」

先日の清瀬駅での出来事。カタコトの日本語がプラットフォームにかすかに響きました。上りエスカレーターの入口付近で、おそらくは清瀬高校に部活の試合で向かうのでしょう。相当大きなリュックを背負った学生が方向転換をしたためにその大きなリュックが直進してきた前出の外国からいらしたと思われる方にぶつかったのです。実は、その学生は、私の乗る準急池袋行きに、秋津駅から乗車してきました。3名ほどの集団で、おそろいの大きなバッグを背負い、抱えることもなく談笑していました。抱えもせず背中側で左右に振れるリュックを見ながら私は「誰かにぶつからないのか？マナーが悪いな」と考えているところであつたのです。

先日、3年生の道徳で“言葉おしみ”という教材を扱いました。惜しむとは、未練が残る・もったいなく思う・残念に思うこと。転じて時間を惜しむなどと使うと、時間を無駄にしないなどの意味をもちます。ということとは“言葉おしみ”は言葉を無駄にしないように大切にすることということになります。

～～～自動改札に戸惑っていると背後に40歳くらいの男性が。「もたもたしてすいません」と彼に声を掛けると、にこやかに「どういたしまして。ごゆっくり」励まされるように改札を通り(中略)最近「どういたしまして」という言葉を聞かなくなった。～～～

これが文章の出だしです。「どういたしまして」は謝辞の返事として重要な言葉にも関わらず、近頃あまり聞かなくなりました。相手の言葉かけに対し、返事をしなければ挨拶は完結していません。本来あるべき言葉なのに存在しないことが増えてきました。病院では、順番がきて「〇〇さん、〇〇さん」と呼ばれても「ハイ」の返事が聞こえてきません。混雑するバスで、多くの人が降りないバス停に下車しようとする人が「すみません」の一言もなく、手すりをつかむ人にぶつかりながら押しのけるようにして、下車口に向かうシーンを何度も目撃しています。これらの場合、もったいなくて、言葉を発しないのではなく、未練が残るから伝えないわけでもなく、そもそも、言葉を発するつもりが無いのです。

～～～問いかけても無言で、あるいはかすかに首が縦に揺れた程度の反応しか返ってこない。(中略) いわば、大人の言葉おしみは、一般的な現象なのだ～～～

後に続くこの文章を読んで、他人にぶつかったのにも関わらず「ごめんなさい」「すみません」などの言葉を言えないのは、私たち大人がそういう世の中に変えてしまったのではと気づかされました。何より「ごめんなさい」「すみません」そして「ありがとう」「どういたしまして」大切な日本語を大切にしていないことを清瀬駅で海外の方に教えられたのです。恥ずかしさを覚えました。それは日本が大切にしてきた真心を粗末に扱っているのと同じです。多くを語らないことで伝える場面、言葉を大切に扱うがゆえ、言葉を発しないことはあります。それが本当の“言葉おしみ”ではないでしょうか。



生徒達が植えたチューリップが芽を出し始めました。日本が変わってしまっても、球根は、土の中で水分を感じ、温度を感じ、いつもと変わらず新しい生命を息吹きます。まもなく卒業式です。もう一度、真心を大切にする日本を息吹かせるために清瀬中の3年生が巣立っていきます。だから、取えて

お目でどうではなく「お芽出とう」

と伝えます。たくさんの「ありがとう」であふれるはず。私は「どういたしまして」と答えるつもりです。

薬物乱用防止教室

3月11日、本校の学校薬剤師である大塚先生にご来校いただき、3年生対象に薬物乱用防止教室を開催しました。

薬を正しく知ることから始まりました。正しい飲み方をしなければその効果は半減。また、体にいいと信じ飲んだサプリメントの成分にドーピング検査にかかる成分が含まれることもあり、実際に失格になったスポーツ競技者もいるとのこと。オーバードーズについてもお話いただきました。



明星大学のみなさんと交流

3月9日明星大学で教職課程を履修する学生さんと本校生徒会役員が意見交換をしました。まずは、生徒会の活動内容を紹介しました。内容に対する評価や改善点を挙げていただきました。続いて、生徒会の抱える課題について相談すると解決へ向けてのアドバイスが返ってきました。明星大学客員教授の樋口先生にもお越しいただき、会話の尽きない会となりました。



1組3年生を送る会

3月4日に3年生を送る会が行われました。1.2年生の軽快な司会で進んでいきました。思い出のスライド上映では、あの頃の懐かしい表情を見ることができました。3年生から1.2年生にエールが贈られました。



学習成果展

3月6日、授業公開とともに学習成果展を開催しました。全教科からの作品が展示されました。多数の保護者の皆様にご来校賜り感謝申し上げます。



雪国プレゼン

1年生は、社会科で雪国の産業や生活について学び、総合的な学習の時間で掘り下げました。食育ともコラボし、雪国の食についても学びました。教科横断的な学習です。スキー移動教室にて、学んだことを確認しました。



ガン教育

3月11日2年生を対象に、久高診療所の有路登志紀先生を講師としてがん教育を行いました。早期発見と早期治療を施せば治らない病気ではなくなりつつあります。講師の先生とwebで結び、ガンについて学びました



PTA 植栽活動

PTA文化厚生委員の皆様がプランターに植栽してくださいました。卒業式に彩を添えます。



CS委員会

今年度最後のCS委員会が3月10日に行いました。今年度の教育活動を振り返り、来年度学校経営方針の確認。図書館開放の実現に向けて意見交換をしました。来年度もよろしくお願いいたします。

